

頚椎手術を受けられる()さんへ

入院時に持参して下さい。

説明日(/) 説明者氏名()

STA0700060-0

月日(日時)	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
経過(病日等)	入院日	手術前日	手術当日(手術前)	手術直後～集中治療室(SICU)	術後1日目	術後2日目	術後3日目	術後4日目	術後5日目	術後6日目	術後7日目	術後8日目	術後9日目
達成目標	◇入院生活について理解できる ◇手術について理解できる			◇合併症の症状・所見がない ◇日常生活動作の範囲の拡大ができる ◇痛みがコントロールできている (10点のうち3点以下)							◇日常生活動作の 注意点について理 解できる	◆退院基準 日常生活動作の注意点について理解が できる 全身状態が安定し傷や術後の画像が 問題ない	
治療・薬剤 (点滴・内服)	お薬とお薬手帳を看護師または薬剤 師にご提示ください	事前に業者の方より手術後に 使用する装具(頸椎カラー)の サイズ測定があります	麻酔科医の指示で起床時に内服する 場合があります 午後からの手術の場合は点滴があります 手術着に着替えます 弾カストッキングは手術室に持参します	手術室で看護師が血栓予防の弾カストッキングを装着します (手術後に医師の指示が出るまでは履いたままになります) 術後、心電図・酸素の値を測るモニターをつけます 手術当日は、1時間毎に自動で血圧測定を行います 首にチューブが入って帰ってくる場合があります 手術後数時間、酸素吸入を行います → 除去します 持続の痛み止めの点滴があります	傷のガーゼを交換します 朝からお薬が開始になります 採血で問題なければ 点滴は終了になります 歩けるようになればストッキングは除 去になります					傷の抜糸をします			
処置													
検査	採血・レントゲン・心電図 があります			採血・レントゲンがあります	採血・レントゲンが があります		採血があります			CT・採血が あります	MRIがあります		
活動・安静度	制限はありません		歩行または車椅子で手術室に行きます	手術後は集中治療室にてベッド上安静になります 排泄もベッド上で行います 痛みや吐き気などの症状があれば お知らせください 手術後は首に装具を付けます	看護師と一緒に 立つ練習をします 病棟に戻ります リハビリの状況に合わせて徐々に活動範囲を広げていきます	合併症予防のため痛み止めを使用しながら活動する時間を増やしていきましょう							
安全	制限はありませんが 歩行に不安がある方は 看護師にお伝えください			ナースコール・ベッド柵を設置します									
食事	制限はありません		朝から絶飲食です	絶食です 翌日から水分をとることができます	昼食から食事摂取 出来ます 全粥になります	普通食になります				検査がありま すが絶食は必要 ありません			
清潔	制限はありません	つめきり・髭剃りを行い マニキュアをされている場合は 手足ともに除去してください シャワー浴または入浴をします			体拭きをします	シャワーに入れます シャワーに入る時は専用の の装具をつけます							
排泄	制限はありません			手術後は尿の管が入ります → 便意をもよおした際は、ナースコールでお知らせください 介助します	尿の管を抜きます 一人でトイレに行けるか看護師が歩 行状態を確認します 問題なければ一人でトイレに行けま す	歩行時のふらつきが強い時は看護師が付き添いをさせていただきます							
患者様及びご 家族への説明 生活指導 リハビリ 栄養指導 服薬指導	担当医師が病状及び手術について 説明します	麻酔科の診察があります 手術室看護師が訪問します	入れ歯・時計・指輪・湿布・眼鏡・コンタクト レンズ・かつらなどは手術室に行く前に必 ず外してください	手術が終わったら、総合診 療棟7階のSICU(集中治 療室)へ移動します	病棟に戻ります(術後 の状況で変更がありま す)			パンフレットを使用 して看護師から 日常生活の注 意点などの説明 があります		薬剤師より退院 処方についての 説明があります	次回の外来受診について医師より説明 がありますので必ずご確認ください		
	看護師が病棟の案内をします	看護師から手術室に行くまでの流れや準備等について説明します	【SICU入室期間の荷物について】 入院時に持ってこられた荷物は全て一旦	手術が終わる次第、家族の方へ電話連絡いたします 手術後、医師から説明があります									
	薬剤師より持参されたお薬の確認を 行います	術後に使用する痛み止めの ポンプの使用方法について	持ち帰ってください 貴重品はご家族で管理してください	医師の説明が終わる次第、面会となります	理学療法士が体の運動状況を確認 します 徐々にリハビリを開始します								
痛くなったらまずポンプを押しましょう ポンプの使用方法が分からない時はお知らせ 下さい。													
手術に必要なものが揃っているか 確認しますので、名前を記入して 一つの袋にまとめてください(看護 師が当日の朝お預かりします)													
待機場所を担当看護師へお伝えください													
退院後に手足のしびれや痛み、傷の痛みや腫れなどの症状が出て きた場合は下記の連絡先へ電話してください													
日中(午前9時～16時): 脳外科外来 0942-31-7617 夜間・休日: 東8階病棟													
・術後1か月目の外来診察で、装具を継続するかを判断します ・手術後4日目に装具使用上の注意点について説明があります													
担当の医療ソーシャルワーカー()がお話を伺いながら退院・転院までの支援を行います													

注1 病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくに従って変わることがあります。

注2 入院期間については現時点で予想される期間です。

久留米大学病院 脳神経外科 東棟8階病棟

2023年8月改訂